

# 青年委員会だより

令和4年1月1日（第249号）

青森県建築士会青森支部青年委員会

新年明けましておめでとうございます。昨年同時期に県内の累計感染者数が500人を超えるかもしれないとお伝えしていましたが、1年で6,000人に迫るまで増えました。ワクチン接種が進み、現在は落ち着いていますが、新たな変異株も確認されています。新年を迎え、新たな気持ちで引き続き感染症対策を徹底して行きましょう。今年もよろしくお願い致します！

## 建築体験伝道活動



授業の様子



編集長松野の発表の様子



嶋中副委員長の発表の様子

## 建築体験伝道活動

12月2日、青森工業高校にて建築体験伝道活動の授業を行いました。昨年は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、今年は例年通り2コマの授業を行うことが出来ました。参加者は、講師の平塚さんと嶋中副委員長、編集長松野の3名。例年、各メディアへお声がけをしておりましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、今回はメディア関係者の参加はなしとさせて頂きました。今回の講義内容ですが、『建築設計事務所の仕事と資格について』と題し、新しくなった建築士制度や平塚先生の経歴紹介から建築士としてどのような仕事をしているか等、生徒さんたちにはどうかわかりませんが、個人的に時間が許されるのであれば、話が尽きるまで聞いていた内容でした。その中で、青森工業高校出身である編集長松野が意匠・構造を自社で行っている総合設計事務所担当、同じく青森工業高校出身の嶋中副委員長が、施工業者の立場からお話させて頂きました。久しぶりに人前で発表だった上、予定していた時間より押していたこともあり、若干グダグダの発表となった編集長松野でしたが、同級生である嶋中副委員長の堂々とした発表を目の当たりにし、高校時代から本番に強かったなあ…なんて思いながら聞いていました。講師の平塚さん、嶋中副委員長、お疲れ様でした。

今年も新型コロナウイルスに悩まされる1年でした。しかしながら、昨年より多く定例会を開催することが出来たため、少しは良かったのかもしれません。片山委員長体制となってから、交流会を開催出来ないまま年度末を迎えようとしています。年度内に開催出来れば良いのですが、こちらは新年度改めて行うことになりそうです…。その前に、先月号でも掲載しましたが、建築体験ウォッチの交流会を予定しております。片山委員長より、黄金崎支部長の了承を得た旨の連絡を頂いたので進めているのですが、事前に各団体・企業へ参加人数を聞き取りしたところ、このご時世で会場の人数制限に悩まされている状況です。場合によっては延期も考えられますが、参加希望の方は事務局までご連絡下さい。日程及び会場は決まり次第個別にご連絡致しますので、よろしくお願い致します。

-----  
建築体験ウォッチ交流会 1月21日（金）第3金曜日 19:00～

FAX017-723-7105 mail info@aaba.gr.jp のいずれかでご連絡ください。

会場未定（出席 ・ 欠席）

どちらかに○をつけて返信ください

氏名

TEL